

高齢ラッコの健康管理

○藤森佳奈¹⁾, 楠田哲士²⁾, 近藤圭佑¹⁾, 和田夏海¹⁾, 秋吉未来¹⁾
(¹⁾ マリンワールド海の中道, ²⁾ 岐阜大学応用生物科学部)

マリンワールド海の中道では現在1頭のラッコ *Enhydra lutris* (国内登録番号294, 雄, 16歳, 愛称:リロ) を飼育している。高齢となった当該個体に対して近年実施している健康管理の中で, 受診動作訓練にて実施可能な採血と採尿に関して紹介する。採血は, 2021年3月から陸上に上陸させた状態で後肢大腿部の大腿静脈より実施している。上陸や針の刺入などに対する脱感作を行い, 訓練開始から203日後に血液の採取に成功した。2023年1月5日に採取した結果において, 尿素窒素値が94.9mg/dLと, 既報の基準値よりも高い結果を示した。そこで, 2023年2月から腎臓病マーカーとしての尿検査を目的に採尿訓練を開始した。訓練は後肢を保持した状態で膀胱, 辜丸付近をマッサージすることで実施した。開始日より給餌終了直後に排尿が確認され, 訓練開始26日後には5mL程度の尿を採取することができ, その後50mL程度の採尿が安定して実施できるようになった。尿性状は, pH: 5.91–6.19, 比重: 1.036–1.039であった。外部検査機関(アイデックスラボラトリーズ株式会社)にて尿中蛋白/クレアチニン比の測定を行った結果, 0.27–0.33であった。尿沈渣では結晶や白血球, 赤血球, 精子, 尿円柱などを確認した。これまでラッコの尿性状に関する報告はなく, 重要な参考値となった。結果として, 明らかな低比重尿ではないこと, 尿中蛋白/クレアチニン比がイヌやネコの値を参考にすると正常範囲内であることから, 尿素窒素値の上昇が腎不全由来であるかは不明であり, 今後も経過を追う必要がある。また, 受診動作以外での健康管理として, 2016年6月から定期的に排便を回収し, 継続的に性ホルモン動態の把握を行っている。糞中アンドロジェン(アンドロステンジオン)濃度に, 毎年秋季から冬季に一次的な上昇が確認されている。